

第2学年 道徳学習指導案

1 総合単元名 心をかよわせて

2 総合単元設定の理由

(1) 総合単元について

人は、毎日の生活の中でまわりの人々とさまざまなかかわり合いをもって生きている。よりよく生きていくためには、自分を他人とのかかわりの中でとらえ、望ましい人間関係を築いていくことが必要である。人は、本来、困っている人を見ると、何か力になれることはないか、どうかして助けることはできないかと考える。自分の利害に関係なく、その人の身になり、心の痛みや苦しみを受けとめ助けたいこうとする思いやりの心情や、親切な行いは低学年から培っていかねばならないものである。自分ができることは何かを考え、身近にいる困っている友達や幼い人に対して温かい心で接し、高齢者に対していたわりの心を持ち、ともになぐさめ合ったり手を貸したりしようとする心情を育てることが大切である。一人一人が相手の気持ちを思いやる心は、世の中を明るくし、住みよい社会をつくることにもつながっていくと考える。

本学年の子どもたちは、明るく素直でのびのびとしており、休み時間には友達と仲よく遊んでいる。一人遊びよりも友達と一緒に遊ぶことが楽しいことに気づき、好んで集団での遊びをするようになってきた。また、全体的にやさしい子が多く、泣いている友達がいるとそばによって声をかけ、話を聞いたり、なぐさめたりすることもできている。掃除や係・当番活動も班の友達と協力してしようががんばっている。だんだんと学級の仲間としての意識ができていくように感じられる。けれども、困っている友達を見て助けようとする気持ちや、友達が喜ぶことをしていこうという心情は十分に育っているとはいえない。

2年生になると、学校生活にも慣れ、交友関係も広がり、行動も活発になってくる。アンケート「子どもにどのような道徳性を身に付けさせたいか」には、「友達と仲よくし、助け合う子どもになってほしい」という願いが強かった。みんなが生き生きと、毎日楽しく生活でき、仲よく思いやりの心をもって、ともに助け合うことのできる子どもたちになるように期待している。

そこで、友達を思いやる気持ちの大切さに気付かせ、温かい心で接することや相手の身になった励ましや援助ができる子どもになってほしい。さらに、多くの人とのかかわりの中で生きている一人としての自分の在り方を見つめ、自分から進んで親切の輪を広げていくことができる子どもになってほしいと考え、本総合単元を設定した。

(2) 単元構成について

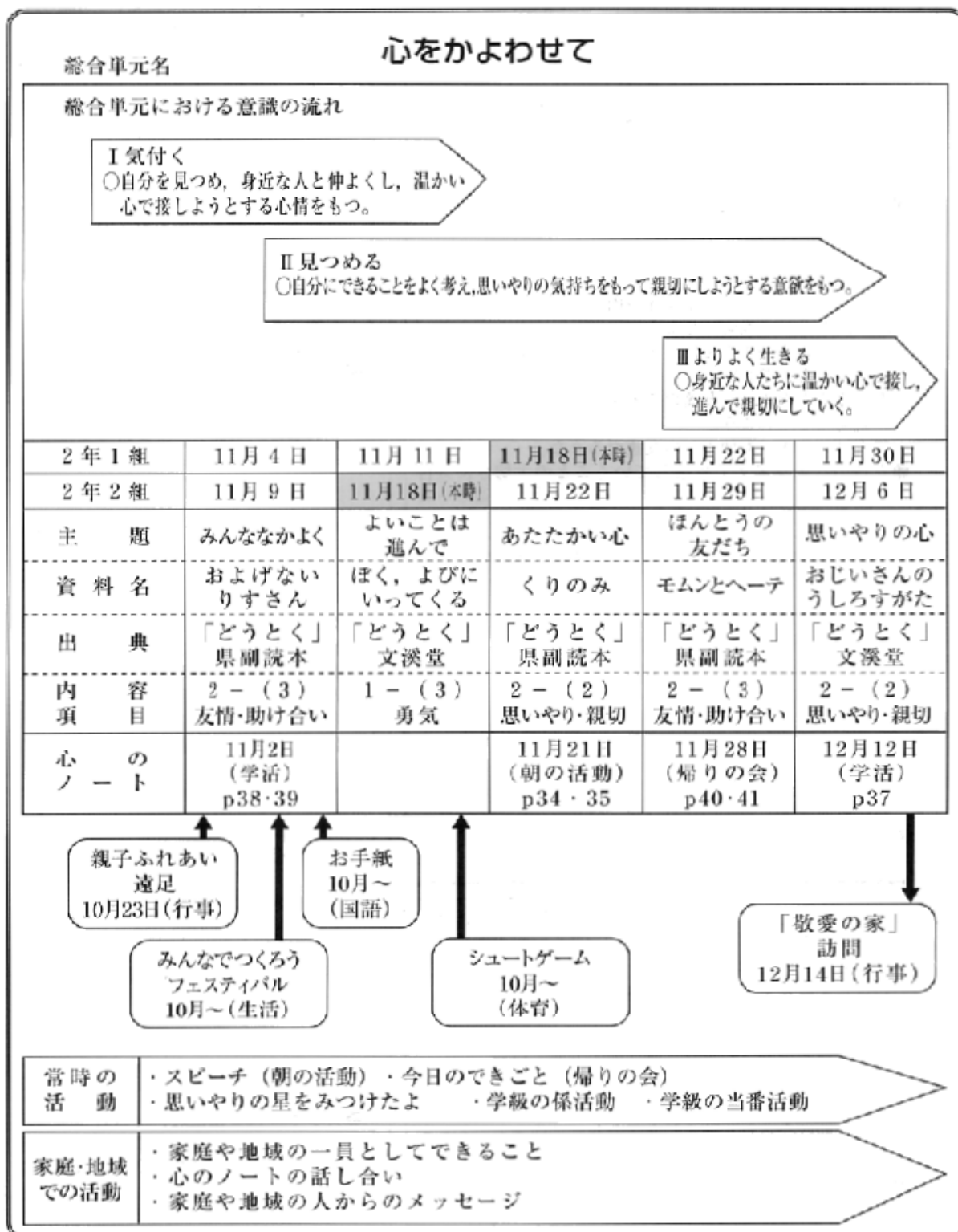
2年生では、「勇気をもって行動し、身近な人に温かい心で接し、親切に行動する」、「自他の生命を大切にし、動植物にも優しい心で接する」を学年重点目標としている。1学期には総合単元「むねをはって」を設定して、よいことと悪いことの区別をし、自分や友達に誠実に接し、素直に明るい心で生活していこうとする態度を養ってきた。2学期には総合単元「心をかよわせて」を設定して、友達や家族、身近な人たちに温かい心で接し、思いやりの気持ちをもって親切にしていこうとする態度を養いたい。さらに3学期には総合単元「いのちはひとつ」を設定して、生きることの喜びを感じ取り、生きものには生命があることに気づき、かけがえのない自他の生命を大切にしようとする態度を養っていききたい。

本総合単元では、異学年集団での親子ふれあい遠足、生活科「みんなでつくろうフェスティバル」での活動、保護者や異学年との交流などを体験していく。その中で、自分一人ではできないことも友達と仲よく助け合うことで、手伝ってもらったり親切にしてもらったりするうれしい気持ちも実感することができる。この体験を道徳の時間に生かし、友達を思いやる気持ちの大切さに気付かせ、温かい心で接したり、相手の身になった励ましや援助をしたりすることにより、だれに対しても親切にしていこうとする実践意欲を高めていきたい。さらに、「敬愛の家」の訪問を通して、道徳の時間で高められた心情から、親切はした方もされた方も、互いに温かい気持ちになり、より親しくなることに気付かせていきたい。そして、身近な人たちとの望ましいかかわり方を考え、誰に対しても親切にし、仲よく助け合って生活していこうとする態度を養っていききたい。

3 総合単元の目標

友達や家族、身近な人たちに温かい心で接し、思いやりの気持ちをもって親切にしていこうとする態度を養う。

4 学習計画



子どもの意識・実践の様子・評価

—— 道徳の時間

~~~~~ 心のノート

—— 教科等

..... 常時

===== 体験活動

○めあて ●評価

|                        | 子どもの意識                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 学校・家庭・地域で生かす                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| I<br>気<br>付<br>く       | <p>心のノート「友だちとなかよく」 p38・39 (学活) 11月2日</p> <p>○友達と一緒に、仲よく親切に学校生活を過ごしていこうとする意欲をもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも友達と一緒にいるんだな。</li> <li>・運動会もみんなで力を合わせてがんばったな。</li> <li>・友達がたくさんいると楽しいな。みんなと仲よくしていこう。</li> </ul> <p>●友達がいるから、学校生活が楽しく過ごせることに気付くことができたか。</p>                                                                                            | <p>「親子ふれあい遠足」(行事) 10月23日</p> <p>○うめの子グループで異学年の仲間や保護者の人と、助け合ったり励まし合ったりしながら、徒歩遠足を楽しむ。自分勝手な行動をしないで、グループの友達のことを考えた行動ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントに行くとおもしろいゲームができて楽しかった。</li> <li>・たくさん歩いて疲れたけれど、6年生の班長さんが励ましてくれてうれしかった。</li> <li>・うめの子班の人たちと一緒に歩いたので、速くても平気だった。</li> <li>・公園で友達やおうちの人と仲よく遊んで楽しい遠足だった。</li> </ul> <p>●グループの友達と協力して、仲よく活動することができたか。</p> <p>●友達のことを考えた行動ができ、楽しんで遠足に参加することができたか。</p> |
|                        | <p>「お手紙」(国語) 10月～</p> <p>○さびしい思いをしている友達や困っている友達を見つけたら、やさしく親切にしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悲しんでいるがまくんに、すぐに手紙を書いたかえるくんはとてもやさしい。</li> <li>・かえるくんのように友達のことを考えていきたい。友達に親切にしていこう。</li> <li>・二人はいつまでも仲よしの友達だろうな。</li> </ul> <p>●友達のことを考えて生活していくことの大切さに気づき、友達にやさしく接していこうとする意欲が高められたか。</p>                                                                     | <p>「紙人形げきをしよう」(国語) 10月～</p> <p>○グループの仲間と協力して、紙人形を作ったり、紙人形げきの発表会をしたりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの仲間と協力して紙人形が作れた。みんなで一緒にすると楽しい。</li> <li>・読み方や紙人形の動かし方を練習して、力を合わせて発表会ができた。</li> </ul> <p>●友達とのかかわりの中で、仲よく助け合って、自分の役割を果たすことができたか。</p>                                                                                                                                                           |
|                        | <p>資料名「およげないりすさん」(道徳) 11月4日・9日</p> <p>○だれに対しても相手を思いやる気持ちをもって、友達に親切にし、仲よしの輪を広げていこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・りすさんはみんなに仲間はずしにされて、さびしい気持ちで悲しかっただろうな。</li> <li>・りすさんはみんなと一緒に鳥に行き、うれしかっただろう。これからもみんなで仲よくしていくといいな。</li> <li>・はじめはいじわるなかめさんたちも、りすさんを背中に乗せて鳥に連れて行ってあげてよかったな。みんなで一緒に遊んで楽しかっただろうな。</li> </ul> <p>●友達が困っているときには、助けていこうとする思いやりの心に気付くことができたか。</p>   | <p>「ようこそフェスティバルへ」(生活) 11月7日</p> <p>○遊びに来てくれた人たちの気持ちを考えて、思いやりの心で仲よく活動できる。友達のよさを認め、自分のよさも発揮して、協力し合って活動できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びに来てくれた人たちが喜んでくれてよかった。楽しくできた。</li> <li>・準備は大変だったけど、できてよかった。みんなで力を合わせて作ったからできたんだな。</li> </ul> <p>●異学年の人と積極的にふれ合ったり、かかわり合ったりすることができ、相手を思いやる親切な態度が実践できたか。</p>                                                                                                      |
| II<br>見<br>つ<br>め<br>る | <p>「みんなでつくろうフェスティバル」(生活) 10月～</p> <p>○自分たちのフェスティバルを考え、グループの友達と必要なものを協力して準備することができる。招待する人のことを考えて、来た人が楽しめるような遊びを工夫して、作っていくことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで考えた遊ぶものを、力を合わせて作っていこう。大変だけど、友達と一緒に作ると楽しいな。</li> <li>・招待した1年生や3年生の人が喜んで遊んでくれるといいな。</li> <li>・友達と助け合ったり励まし合ったりして作ると、どんどんでき上がってくるな。</li> </ul> <p>●招待する人のことを考えながら、友達と助け合い仲よく活動することができたか。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

資料名「ほく、よびにいく」(道徳) 11月11日・18日(2組本時)  
○よいことと悪いことの区別をして、よいと思うことをはりきってしていこう。  
・友達を仲間はずしにするなんていけないことだ。勇気をもってまつきちに注意することができてよかった。  
・友達のためによいことをしていきたいな。  
・たくさんの友達と一緒に遊ぼう。みんなで仲よくしていきたいな。  
・よいことをすると気持ちがいいな。  
●勇気をもってよいことを行おうとする意欲がもてたか。

資料名「くりのみ」(道徳) 11月18日・22日(1組本時)  
○人が困っているときには、温かい心でいたり合ったり、互いに助け合ったりしていこう。  
・うさぎは、きつねのことを友達だと思って、くりの実をあげたのだろう。思いやりがあってやさしいな。  
・うさぎは迷ったけれども、くりの実をあげて親切だな。  
・きつねは、くりの実をもらってうれしかっただろうな。これからは、友達のことを考えて、親切なことができるだろう。  
●困っているきつねのことを思いやる、うさぎの温かくやさしい心を感じ取ることができたか。

資料名「モムンとヘーテ」(道徳) 11月22日・29日  
○どんなときにも互いに助け合ったり、励まし合ったりして、友達と仲よく活動していこう。  
・二人で持ってきたくりの実を、ヘーテはひとりじめしてしまうなんてずるいな。自分勝手なことはしてはいけない。  
・自分だけ逃げて助かっても、うれしくない。ヘーテを許そう。友達なのだから、助けて一緒に逃げるとまた仲よくできる。  
・ヘーテが死んでしまうかもしれない。ひとりぼっちになるのはいやだな。自分の命も友達の命も大切なんだ。  
●友達を許す心の大きさや、励まし合う友情のすばらしさを深く感じる事ができたか。

資料名「おじいさんのうしろすがた」(道徳) 11月30日・12月6日  
○高齢者や体の不自由な人に温かい心で接し、親切にしていこう。  
・おじいさんの白いつえを見て、目が見えないことに気付いて、すぐに声をかけて聞いてあげたのは、やさしいな。  
・目の見えないおじいさんに、バスの乗り方を親切に教えることができて、みのるくんはうれしかっただろう。  
・みのるくんが、一緒にバスが来るまで待ってあげたので、おじいさんは安心して乗ることができただろうな。  
●高齢者や体の不自由な人のことを考えて、行動することの大切さに気づき、困っている人に温かい心で親切にしていこうとする意欲が高められたか。

「シュートゲーム」(体育) 10月～  
○決めたルールを守って、みんなで力を合わせて、シュートゲームができる。  
・ゲームの仕方を考えながらするとおもしろいな。  
・的にボールを命中させたり、ゴールにシュートを決めたりできるように、作戦を立てよう。  
・友達と教え合ったり、協力し合ったりすると、楽しいな。  
●ルールを守らない子やずるいことをしている子に注意をして、みんなで楽しくゲームができたか。

心のノート  
「あたたかいところで」 p37  
(学活) 12月12日  
○敬愛の家に行ってもんなことをすれば、高齢の方に喜んでもらえて、自分たちも楽しくできるかを話し合い、計画を立てよう。  
・敬愛の家のおじいちゃんやおばあちゃんに喜んでもらえるようなことをいっばいしたいな。心をこめてしよう。  
・相手のことを考えて親切にしたいな。1年生のときよりも、楽しくしたいな。  
●自分から積極的に活動していけるめあてや計画を話し合うことができたか。

「敬愛の家」の訪問(行事) 12月14日  
○敬愛の家のおじいちゃんやおばあちゃんに、思いやりの心でやさしくしたり、親切にしたりできる。  
・おじいちゃんやおばあちゃんと仲よくできた。喜んでくれてうれしいな。  
・おじいちゃんやおばあちゃんにやさしくできた。うれしいな。  
・敬愛の家に行き、たくさんの人に親切にできてよかったな。  
・自分から肩たたきをすることができた。お礼を言ってくれた。  
●高齢の方とのふれあいやかかわり合いの場で、相手のことを思いやる親切な態度が実践できたか。

(1) 主 題 名 あたたかい心

(2) 主題設定の理由

〈ねらいとする価値について〉

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 2-(2) | 身近にいる幼い人や高齢者に温かい心で接し、親切にする。 |
|-------|-----------------------------|

人は互いに支え合いながら生きている。人を支えるためには、その人の気持ちや立場を理解できなければならない。相手の気持ちをよく理解しないで、何かをしても、それがかえっておせっかいになったり、迷惑になったりすることもある。その人の心の痛みや苦しみを自分のこととして受け止めたとき、自分はどうすればよいか考え、何とかしたい、せずにはいられないと思い、親切にすることができる。相手に対するいたわりの心をもって、共に励まし合って生きていこうとすることが真の思いやりや親切であり、多くの人々とかかわり合って、よりよく生きていくためにも大切なことと考える。身近にいる困っている友達や幼い子、高齢者に対していたわりの心を持ち、ともに支え合ったり助け合ったりしていこうとする心情を育てていきたい。

〈子どもの実態〉

子どもたちは、素直で明るくのびのびと生活できている。遊びを中心として交友関係も広がってきて、ものを貸し借りしたり、できないことを教え合ったりして、友達とのかかわり方が深まりのあるものになってきている。また、教室には、「思いやりの星を見つけた」を掲示し、友達に親切にしたことや親切にしてもらったことを書くようにしているが、友達のことを考えた言動がだんだんとできるようになってきた。しかし、相手の置かれている状況を考えないで自分勝手な行動をすることもある。友達やまわりの人に親切にしたり、助け合ったりすることが大切であることはわかっているが、その場になると行動に移せない場面もみられる。

そこで、困っている人の立場に立って、相手を思いやる気持ちを持ち、温かい心で接することの大切さを知り、親切な行為をしようとする子どもを育てていきたいと考えた。さらに、友達だけでなく、身近にいる人々にも親切にしていこうとする心情へとつなげていきたい。

〈資料について〉 くりのみ (県副読本)

本資料は、北風の吹く寒い日に食べ物を探しに行くうさぎときつねの話である。たくさん見つけたどんぐりを腹いっぱい食べ、残りは見つからないように隠したうえ、「なんにも見つかりませんでした。」と嘘をつくきつねと、やっと二つだけ見つけたくりの実を一つさし出すうさぎの親切な行為が対照的に描かれている。嘘を言ったきつねを単に悪いと決めつけるのではなく、きびしい状況の中では自分たちも同じことをしたかもしれないという思いに素直に共感させたい。その上で、迷いながらも、相手のことを思いやって、くりの実をさし出すことのできたうさぎのやさしい行為のすばらしさを感じ取らせたい。再現劇を通して、やっと見つけた二つしかないくりの実を一つ出されて、自分の身勝手さへの恥ずかしさに涙を流すきつねの心情にもせまりたい。そして、相手のことを考え、思いやることのできたうさぎのほのほとした温かい心情にふれ、自分もそうありたいと願う素直な心を持ち、うさぎのように相手の気持ちを考えて親切にしようとする意欲を高めていきたい。

(3) ね ら い

人が困っているときには、温かい心でいたわり、互いに助け合っていこうとする心情を育てる。

| 学 習 活 動                                                                                                            | 主な発問と予想される子どもの意識                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 指導上の留意点と評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 冬の野山の風景を見て、感想を発表し合う。                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ この写真を見たり、音(風等)を聞いたりして、どんなことを思ったり、感じたりしますか。</li> <li>・冬で、寒そうな感じがする。</li> <li>・木の葉っぱが落ちて、さびしそうだ。</li> <li>・何もないところだなあ。静かだろうな。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>□思ったり、感じたことを発表し合い、資料への興味・関心をもたせる。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>2 資料「くりのみ」を読み、きつねやうさぎの気持ちを話し合う。</p> <p>・きつねがたくさんのどんぐりを見つけたとき</p> <p>・うさぎがくりの実をきつねにあげるとき</p> <p>・きつねが涙を流したとき</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「くりのみ」を読んで、どんなことを思いましたか。</li> <li>・うさぎは、くりの実をあげたからやさしい。</li> <li>・うさぎは、きつねのことを考えてあげたのがいいことだな。友達を助けようと思っているんだな。</li> <li>・きつねは、どんぐりをたくさん見つけたのに隠したのでずるい。よくばりだな。</li> <li>○ きつねは、たくさんのどんぐりを見つけたとき、どんな気持ちでしたでしょう。</li> <li>・やっと見つけた。たくさんあるし、ラッキーだ。</li> <li>・うれしいな。いっぱい食べても大丈夫だ。</li> <li>・おなかがいっぱいになった。おなかがすいたら、また食べにくればいいんだ。</li> <li>・隠しておけば、だれにも見つからないだろう。</li> <li>○ 「それは、おきのどくですね。」と言った後、うさぎはどんなことを考えたでしょう。</li> <li>・やっと見つけた二つのくりの実だ。あげるなんていやだな。</li> <li>・くりの実は二つあるのだ。一つあげてもいいかな。どうしよう。</li> <li>・きつねもおなかへっているのだ。かわいそうだ。一つあげようかな。</li> <li>・きつねも困っているんだ。一つあげよう。また、明日も食べ物を探しに来ればいいんだ。</li> <li>○ きつねは、涙を流しながら、うさぎにどんなことを言ったでしょう。</li> <li>・二つしかないくりの実をくれるなんて、うさぎさんはやさしいね。親切にしてくれてありがとう。</li> <li>・どんぐりは隠してあるのに。うそをついて、ごめんなさい。もうしないよ。</li> <li>・たくさんあるどんぐりをうさぎさんに分けるからね。これからは友達を思いやる心になるね。</li> <li>・うさぎさんもやっと見つけたくりの実なのに。うさぎさんのようにみんなにやさしくしたいな。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>□冬の野山で食べ物を探すことの大変さを補説しながら、初発の感想を発表させることにより、きつねとうさぎの行為を考えさせる。</li> <li>□冬の野山はきびしい状況であるし、食べ物がない中で、やっと見つけたどんぐりを、自分だけのものにしたいと思うきつねの気持ちに共感させる。</li> <li>□やっと見つけたくりの実を「あげる」と決めた、うさぎのやさしさを感じ取らせることにより、ねらいとする価値にせまらせる。</li> <li>●きつねのことを思いやるうさぎの温かい、やさしい心を感じ取ることができたか。(発言)</li> <li>□くりの実をもらったときの様子の再現劇をすることにより、思いやりの気持ちをもって、親切にすることの大切さを分からせる。</li> <li>●再現劇をして、親切にしていこうとする心情がもてたか。(劇)</li> </ul> |
| 3 自分たちの生活を振り返る。                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでに親切にしてよかったことや、親切にされてうれしかったことはありませんか。</li> <li>・タイヤとびをしてこけた1年生の子を、保健室までつれて行ってあげた。やさしくできてよかった。</li> <li>・おにごっこで遊ぶときに、さそってくれて、うれしかった。</li> <li>・ふれあい遠足で6年生がやさしくしてくれた。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>□これまでの自分の生活を振り返り、自分や友達のよさに気付かせ、今後の課題をもたせる。</li> <li>●生活を振り返り、思いやりや親切についての考えを深めることができたか。(発言)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 4 学習のまとめをする。                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 敬愛の家に行って歌う「いっしょにいたから」をうさぎさんのようなやさしい気持ちで歌いましょう。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>□「敬愛の家」のお年寄りのことを思いながら歌い、実践への意欲づけを図る。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

(1) 主 題 名 よいと思うこと

(2) 主題設定の理由

〈ねらいとする価値について〉

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 1-(3) | よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。 |
|-------|-------------------------------|

毎日の生活が、互いに快適に過ごせるためには、一人一人が善悪を正しく判断し、正しいことを貫いていこうとする心構えが必要である。人は、よくないとわかっているにもかかわらず、自分の欲望や利益のために行動してしまうことがある。しかし、人はこうした自らの弱さを知り、互いの誤りを注意し合うよさももっている。こうしたよさを伸ばして、自分の弱さを克服し、正しいことを貫いていく勇気を養わなければならない。行ってよいことと悪いことの区別ができる判断力や、よいことをして快いと感じる心情を育てていきたい。そして、他の人や自然や集団、社会に対しても「よいこと」と思えば、それを進んで実行していけるような態度を養っていきたい。それが、人と人とのかかわり合いを大切にし、望ましい人間関係を育成していくために必要不可欠なことであると考えます。

〈子どもの実態〉

子どもたちは、遊びを中心として交友関係も広がり、友達とのかかわり方が深まりのあるものになってきている。また、集団の中では周囲の友達の動向をとらえて、よいと思う行動を進んだり、よくないと思う行動をする友達に注意をしたりする態度も見られるようになってきた。しかし、正や不正について深く考える力がまだ不十分で、よく考えないで利己的な判断のもとに、自己中心的な行動をとってしまうこともある。そのために、困っている友達や悲しんでいる友達がいても、どう接していけばよいのか分からなかったり、知ってはいても勇気が足りず実行できなかつたりすることもある。

そこで、何が正しいことなのか、何が悪いことなのかという善悪の判断が主体的にできる確かな見極めの必要さに気付かせたい。また、自分の利害に基づいて行動するのではなく、公正な立場から判断するとともに、正しいことをやりぬく勇気をもつことの大切さを分かせ、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養っていきたい。

〈資料について〉 ぼく、よびにいってくる (文溪堂)

たぬきのだいすけたちらびきが、サッカー遊びをすることになったが、まつきちはじろうが入ると数が半端になるという理由で、のけものにしようとする。みんなはまつきちの合図で石に化けてしまう。じろうが通りすぎ、再びみんなで遊び始めようとしたとき、だいすけは自分の過ちに気づき、思い切って「やっぱりじろうも仲間に入れよう。」とじろうを追いかける。それを見たみんなも自分たちのしたことに気づき、だいすけに続いて走り出すという内容である。少し遅れてしっぽを出して化けたことは、悪いことをしているのではないかというだいすけの心の迷いの表れであり、よくないことだと感じながらも言い出せない心の葛藤をとらえさせたい。そして、自分が正しいと思ったことを思い切って実行するだいすけの勇気ある態度や、友達のことを大切に思うやさしい気持ちに共感させたい。さらに、だいすけの正しい行いがみんなをよい行動に導かせたことに気付かせ、よいことを進んで実践しようとする態度に結び付けたい。

(3) ね ら い

よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする態度を養う。

| 学 習 活 動                                                                                                           | 主な発問と予想される子どもの意識                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 指導上の留意点と評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 これまでの体験活動の写真を見て話し合う。                                                                                            | ○ よくないことをしたり、言ったりしている友達を見たら、みんなはどうしますか。<br>・注意をして、やめさせる。<br>・先生に言って、注意してもらう。<br>・何もしないで、放っておく。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | □今までの体験活動の様子を発表することにより、ねらいとする価値にかかわる意識をもたせる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 2 資料「はく、よびにいつてくる」を読み、話し合う。<br><br>・少し遅れて石に化けたときのだいすけの気持ち<br><br>・大きな声で言ったときのだいすけの気持ち<br><br>・みんなで走り出したときのだいすけの気持ち | ○ 「はく、よびにいつてくる」を読んで、どんなことを思いましたか。<br>・だいすけは、よいことがはっきり言えたのでよかった。<br>・だいすけは、じろうを呼びに行ったのでやさしい。<br>・仲間はずれにしないで、みんなで遊んだ方が楽しいことが分かった。<br><br>○ しっぽを出して石に化けたとき、だいすけはどんな気持ちだったでしょう。<br>・はくのしっぽにじろうが気付いてくれたらいいな。<br>・一人半端になると困るから、悪いけれど隠れていよう。じろう、ごめんね。<br>・どうしようかな。じろうがかわいそうだ。<br>・サッカー遊びができなくなるから、仕方がないかな。でも隠れるのはいやだな。<br><br>○ だいすけが「じろうもなかまにいれよう。」と、もう一度大きな声で言ったのはどうしてでしょう。<br>・まつきちの言うとおりにしないと、怖いけど。<br>・数が半端になってしまうが、黙っているのはいやだな。<br>・なんだかじろうのことが気になる。<br>・じろうが寂しそう。やっぱり悪いことだ。<br>・じろうもサッカーで遊びたいだろう。<br>・じろうも仲間に入れて、一緒に遊びたい。<br>・やっぱりはっきりと言わなければいけない。<br><br>○ 「はく、よびにいつてくる。」と走り出しただいすけは、どんな気持ちだったでしょう。<br>・じろう、ごめんね。一緒にサッカーをしよう。<br>・勇気を出して、まつきちに言ってよかった。<br>・みんなも同じ気持ちでいたんだな。言ってよかった。<br>・迷っていたけれども、はっきり言えてよかったな。これで、すっきりしたな。<br>・たくさんの友達で遊ぶ方が楽しいね。<br>・これからは、友達を大切にしていこう。 | □初発の感想を発表させることにより、主人公の行為についての問題意識をもたせる。<br><br>□みんなより少し遅れたり、わざとしっぽを出したりして、隠れただいすけの気持ちを考えさせながら、自分は悪いことをしているのではないかという心の迷いをとらえさせる。<br><br>□「じろうもなかまにいれよう。」と勇気を出して言うまでのだいすけの気持ちを、葛藤劇をすることにより、共感的にとらえさせる。<br>●よいと思うことを勇気をもって主張することの大切さに気付いたか。(発言)<br><br>□よいと思ったことができただいすけの気持ちを考えさせ、よいことをした快い心情や、友達も賛同してくれたうれしさに気付かせる。<br>●友達のことを思いやる心や、よいことが進んでできた快さに、気付くことができたか。(発言) |
| 3 自分たちの生活を振り返る。                                                                                                   | ○* 今までよいと思ったことを進んでしたことはありますか。そのときはどんな気持ちになりましたか。<br>・シュートゲームをしているときに、ルールを守らないでしている子がいたので注意した。はっきり言えて、楽しくゲームができた。<br>・親子ふれあい遠足で幼稚園の子が困っていたので、よく知らない子だったけれど、声をかけた。<br>・友達にいじわるをしている子に、勇気を出して「やめよう」と言えてよかった。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | □これまでの自分の生活を振り返り、自分のよさに気付かせ、今後の課題をもたせる。<br>●学習したことから自分たちの生活を振り返り、勇気をもって友達のためによいことを行おうとする意欲がもてたか。(発言)                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4 本時のまとめをする。                                                                                                      | ○ 先生が勇気をもって正しいことができたことを話します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | □教師の経験を話し、勇気をもって行動しようとする実践意欲を高める。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |



